



☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ 輝く地域の星となれ ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

報道で見る氷上西高 2017

丹波新聞 平成29年7月30日(日)



カブトムシ繁殖
中高生が一役

いきものふれあいの里

青垣(0795・88・0

888)で7月26日、子

どもに人気のカブトムシの展示が始まった。「家」に10数匹が放されている。

カブトムシの繁殖には、トライやるウィークの青垣中学生と、職業体

験の氷上西高生が大きな役割を果たしている。

6月に中学生が施設周りで集めて盛った落ち葉に夏の間にかブトムシが卵を産みつけ、10月に高校生がかえった幼虫を別の飼育桶に移す、というサイクル。

同施設が担う作業は、幼虫の食べる腐葉土が減れば足すくらいで、とても助かっているという。桶に移す時点で幼虫の数が分かり、翌年夏のカブトムシ確保の見通しが概ねつくという。



続々とかえっているカブトムシ
|| 青垣いきものふれあいの里で